

# 魚を科学する ～おさかな最前線！～

## 水産研究発表会の御案内

静岡県における水産研究の最新情報を、水産技術研究所の研究員がわかりやすく紹介します。

主	催	静岡県水産技術研究所		
と	き	12月7日(木) 13時30分～16時30分(開場13時10分)		
と	こ	ろ	焼津公民館大集会室(焼津市本町5-6-1 アトレ焼津3階)	
発	表	内	容	裏面をご覧ください。
参	加	費	無料	
申込み/問い合わせ	①住所、②氏名、③職業を FAX、ハガキ又はEメールで 下記まで御連絡ください。(先着100名様まで)			

静岡県水産技術研究所 開発加工科  
〒425-0033 焼津市小川3690  
FAX: 054-627-3084 TEL: 054-627-1818  
Eメール: suigi-kaihatsu@pref.shizuoka.lg.jp

### 水産研究発表会 参加申込書

氏名	
住所	
職業・所属	

- \* 住所は次回開催案内の発送に使用します。不要な方はご記入いただかなくてもかまいません。
- \* 職業・所属はどのような分野の方が参加されたかを知るための参考にさせていただきます。

## 発表内容の概要

### 1 川のウナギ 海のウナギ

浜名湖分場 飯田益生

川で育つというイメージが強いウナギですが、実は海に棲んでいるウナギもいます。川と海それぞれに棲むウナギの特徴を明らかにすることで、ウナギが川や海をどのように利用しているのかを探り、ウナギの保全に向けた課題に迫ります。

### 2 アイゴの好きな海藻は？

深層水科 山田博一

海藻を食べる魚、アイゴの食害は榛南海域で磯焼けが続く要因と考えられています。今回、衰退した藻場を回復させる方法を考える上で水槽試験によりアイゴの好き嫌いな海藻を調べましたので紹介します。

### 3 魚のニオイを科学する

開発加工科 倉石 祐

魚離れの要因として嫌なニオイが上位に挙げられていますが、魚のニオイはあまり研究されておらず、原因物質もよくわかっていませんでした。今回、キンメダイとニジマスなどのニオイの原因となる物質を明らかにしたので紹介します。

### 4 テングサ漁場を復活させる方法

伊豆分場 高木康次

テングサは、ところてんや寒天の原料になる海藻です。かつて伊豆半島はテングサの一大産地で、漁場には海底に赤いじゅうたんを敷いたような風景が広がっていました。近年、多くの漁場が荒廃しているため、テングサ漁場を回復して産地を復活させる研究を進めています。

### 5 車より一歩先かも？漁船の ICT 化

資源海洋科 小林憲一

漁船は、魚群探知機、プロッターなど多くの機器から得られた情報を参考にして作業場所を決定しています。今回はしらす 2 艘船曳網漁業の作業支援用に開発した「リアルタイム魚群マップ配信システム」の概要について紹介します。

※ICT・・・(Information and Communication Technology)

### 6 アユ釣り客の満足度向上に向けて

富士養鱒場 木南竜平

県内の河川では、アユ釣りを中心とした遊漁が地域経済の一翼を担っています。アユ釣り客の満足度向上につながるような種苗放流等の取組を行うために、どのような釣り人が、何を考え、何に満足や不満を感じているのかを調査した結果を紹介します。